



鎮守の森だより

NPO 法人 社叢学会ニュース
第4号
2003年7月20日

平成15年度通常総会・大会 盛会裡に終わる

平成15年度の通常総会ならびに大会は、去る5月24日(土)・25日(日)の両日、國學院大学渋谷キャンパスを会場に開催され、盛会裡に終了しました。

第1日目の24日は正午より理事会を行ない、午後2時より、國學院大学百周年記念館4階講堂で総会を開催しました。議長には片岡智子理事(ノートルダム清心女子大学教授)が選任され、正会員総数297名中、167名の出席者により、5項目からなる議案を審議し、全ての議案が承認されました(2～3頁参照)。

総会后、アトラクションとして菌田真木子(ソプラノ)・谷有希子(ピアノ)両氏による演奏があり、会場はしばしなごやかな雰囲気につつまれました。

午後3時から基調講演並びにシンポジウム。まず基調講演は上田正昭理事長(京都大学名誉教授)が「森に生きる文明をめざして～新世紀の課題・森の再発見～」と題して、史料を逐次提示しながら日本における森の文明のありようをかえりみる必要性を話されました。引き続き行なわれた同テーマでのシンポジウムでは、今総会の実行委員長でもある菌田稔副理事長(京都大学名誉教授)が司会をつとめ、パネリストとして基調講演をされた上田正昭氏、社叢学会顧問の佐藤大七郎氏(東京大学名誉教授)、社叢学会理事の進士五十八氏(東京農業大学学長)が登場。宗教学・歴史学・植物学・景観政策学とそれぞれの立場からの発言は非常に内容の豊富なシンポジウムとなりました。

この日、夕刻6時から総会会場近くにあるレスト

ランにおいて懇親会が開かれ、約70名が参加し、歓談のひと時をすごしました。

明けて2日目の25日は研究発表会。会場は國學院大学120周年記念1号館の1105号教室。午前10時、米山俊直理事(大手前大学学長)の開会挨拶の後、奥富清理事(東京農工大学名誉教授)の司会で午前の部の研究発表が行なわれました。研究発表は1テーマごとに20分間発表し、10分間の討論を行なうという形式です。午前の部の発表者(敬称略)とテーマは、下川典子・小林章「明治神宮内苑の敷地計画の特徴」、宇佐美暁一「鎮守の森が残した半寄生植物オオバヤドリギ」、沖益弘「長野県伊那市における鎮守の森の形成についての考察」、本多麻衣・濱野周泰「神社林の周辺地域に及ぼす微気象緩和作用に関する研究」の4テーマ。

午後の部は午後1時30分から米山俊直理事の司会で進行し、次の6テーマが発表された。

茂木栄「稲作儀礼からみたモリ・コモリ」、斎藤裕幸・進士五十八「東京都世田谷区における社叢の分布・緑被率と敷地面積の変遷」、吉堂求・中尾七隆「櫻井市社叢の原状と課題」、森川稔「大津市の鎮守の森」、宮内寛「亀岡市鎮守の森周辺の公害と環境破壊の原状について」、渡辺仁・丹羽英之・今井まゆみ「吹田市における歴史的緑地の現状報告とヒートアイランド現象の緩和効果について」。

以上をもって今年度の総会ならびに大会は全てのスケジュールを終えました。次年度の総会会場は奈良県を予定しております。

書籍紹介

「茨城県の天然記念物」

山崎睦男・著

天然記念物は、国・県・市町村によって指定され、学術上貴重な動植物や地質などをいうが、それらはそれぞれの郷土の自然や歴史を代表しているともいえる。本書には国指定9件、県指定60件、市町村指定268件の天然記念物が詳解されているが、国・県指定の樹木は61件、そのうち、神社関係の樹木が半数近くを占めており、茨城県における社叢に関する貴重な資料本でもある。

暁印書館・定価1,500円（税別）

「鎮守の森にかくされた宝物」

監修／倉本宣 構成・文／川上洋一

本書は児童向けの里山探検シリーズ（全5巻）の内

の1巻。全体的には里山における鎮守の森とフクロウの関係がウェイトを占めているが、鎮守の森に生息する動植物や森の価値、調査方法、保護などについても適切な解説とイラスト・写真を駆使している。児童向けに編集されているが、大人が見ても結構楽しめる書物であろう。

旺文社・定価3,000円（税別）

訂正とお詫び

会誌「社叢学研究」創刊号の63ページ上段7行目の「指定特権」は「指定物件」の間違いです。お詫びして訂正いたします。

事務局から

- 会員名簿をお届け致します。会報2号でもご連絡致しましたが、原則として氏名と住所のみを掲載し、住所下のひと欄はコメントをいただいた方のみ記載しました。今回は残念ながらわざわざかの方からしかコメントが得られませんでした。今回は全会員からのコメントをお待ちしております。
- 最近、当事務局から会員の方々に発送した郵便物が転居先不明で返送されてきたり、電話やファックス交信がとれないことがしばしばあります。ご住所や連絡先を変更された場合は必ずご一報下さい。定例研究会のご案内や会報その他がおてもとに届かなくなりますのでご注意下さい。
- 4月に新年度がスタートして3ヶ月が経ちましたが、未だ平成15年度の会費を納めていない方がかなりおられます。学会活動を円滑に運営するためにも会費の納入をよろしくお願い致します。
- 社叢インストラクターの養成セミナーの応募要綱ができました。このセミナーは、社叢の保全管理および鎮守の森などの社叢調査の指導者の養成を目的としております。充実した講義と実習を取り入れたセミナーです。

編集後記

総会も無事終了し、事務局もちょっとのどかな雰囲気… そうそ、社叢学会公式ホームページをどうするか（目下、社叢学会で検索して出てくるのは、ある会員の方が運営されているページに社叢学会のことをご紹介くださっているものなんです、実は）が理事会で話し合われたはずだよな、聞いてかなきゃ。とI事務局長に「HPはどうするんですかあ」と尋ねる。「あ、こっちで作ることになりました！」という元気なお返事。「こっちがってことは、フジオカがってことですよ」（わかってるケドさ、いちお、確かめとかなきゃね）。「はい！ そうです！」とまたまた元気なお返事。はいはい、何でもさせていただきますよ。

かくして、愛用のパソコンを徹夜で（ウソ！）パタパタ叩き、壮大なHP設計図作成。理事の先生方にも見ていただかなきゃね。でも、その前にちょっとお昼寝（こっちはホント）… ん？ なにやら巖かな声が聞こえてきたなあ。あ、あれは恐れ多くもU理事長ではないか！ 「神社関係のもので横書きなんて聞いたことない」。ひえ～ 縦書きのHPなんて見たことないよ。冷や汗がたらり。

ひ、冷たい！ ああ、夢か… 冷や汗じゃなくてよだれ垂らしちゃったよ。

（藤岡 郁）

発行人 社叢学会事務局 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-22 NSビル5階
TEL/FAX06-4790-0155 E-Mail jim@shasou.org
社叢学会関東支部 〒171-0021 豊島区西池袋2-36-1 ソフトタウン池袋1101
TEL03-5950-6507 FAX03-5950-5184 E-Mail shasou@macrovision.co.jp